

施策を構成する事業評価

No.	37	担当課	消防警防課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし						予算事業番号 (予算事業名)						
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	緊急車両整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.3.109014(消防自動車等整備事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々増加する救急需要に対応する高規格救急自動車を更新整備する。</li> <li>・複雑多様化する災害に対応する消防団ポンプ車を更新整備する。</li> <li>・平成30年度に更新した旧大型水槽車について、不用車両の有効利用として、ヤフー官公庁オークション公有財産売却システムを利用し売却する。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格救急自動車を更新し、令和元年10月21日に配備が完了した。</li> <li>・消防団ポンプ車を更新し、令和元年11月21日に配備が完了した。</li> <li>・ヤフー官公庁オークション公有財産売却システムを利用し、旧大型水槽車を売却した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両や資機材の価格が高騰傾向にある。</li> <li>・ヤフーの官公庁オークションが、令和3年3月末日で終了する。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業の有効活用や積載する資機材を検討し、コストを抑えて用途に合った資機材を選び整備していく。</li> <li>・終了するヤフー官公庁オークションに代わる売却システム等の情報を収集し、売却を検討していく。</li> </ul>		

事業名(中分類)	消防施設の維持管理・運営事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109002(常備消防通信管理費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防指令システム及び消防施設に係る通信を管理し、通信体制を万全な状態に保つとともに、電波法令に基づき無線設備等を適正に維持管理する。</li> <li>・市内在住外国人やラグビーワールドカップ2019大会に伴う外国人等の観光客に対応するため、多言語対応システムを導入する。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防用無線機器等の適正な維持管理によって、通信指令業務の迅速・円滑な通信を確保し、安全確実な消防救急活動の遂行を図ることができた。</li> <li>・タブレット端末を購入し、総務省消防庁システムの「多言語音声翻訳アプリ(救急ボイストラ)」を導入した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住の外国人や外国人観光客に対する安全確実な消防救急活動の遂行。</li> <li>・消防指令システムの更新及び大規模災害時における通信業務の運用。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期消防指令システム更新に向けて、中東遠消防指令センター及び中東遠の5消防本部にて協議を行っていく。</li> </ul>		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

事業名(中分類)	消防水利整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109013(市単独消防施設整備事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽の修繕及び維持管理を行う。</li> <li>・上水道配水管の新設や布設替えに併せた消火栓の整備及び維持管理を行う。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽看板の交換(5ヶ所)</li> <li>・防火水槽の蓋修繕(1ヶ所)、金網の修繕(2ヶ所)</li> <li>・防火水槽内の清掃(1ヶ所)</li> <li>・消火栓の布設工事(3カ所)、消火栓取替工事(1ヶ所)、舗装工事(3カ所)</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽の設置場所確保、非耐震性防火水槽の修繕及び防火水槽内のヘドロ、ゴミ、雑草等の除去。</li> <li>・消火栓の腐食及び消火栓ボックス内の土砂等の除去。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防水利の基準(消防庁告示第7号)に基づき、耐震性貯水槽及び消火栓を設置するとともに、消防水利を常時使用できるように維持管理していく。</li> </ul>		

施策を構成する事業評価

No.	36	担当課	消防総務課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし											予算事業番号 (予算事業名)	
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	緊急車両整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109800(公用車管理費)
事業概要	年間計画に基づき、消防自動車等14台の車検及び法定点検及び、老朽化した部品の交換や緊急修繕を的確に実施して、緊急車両を維持管理する。		
取組内容・結果等(D)	消防自動車等の法定点検とともに、バッテリー及びタイヤ交換等の修繕を実施し、車両を適正に維持管理した。		
課題・問題点等(C)	車両の老朽化とともに、修繕等の必要が増えるため、車両更新計画と併せて修繕計画の検討を進めていく必要がある。		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両更新計画に基づき、老朽化した車両の更新を適切に行い、消防力の維持向上を図る。</li> <li>消火戦術等の最新情報を収集し、戦術に沿った装備品と車両の整備を検討する。</li> </ul>		

事業名(中分類)	消防施設の維持管理・運営事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109002(常備消防通信管理費) 9.1.1.109034(常備消防施設管理事業費) 9.1.1.109850(常備消防総務費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎や浄化槽等の総合管理と衛生管理などを継続的にを行い、施設等の長寿命化を図るとともに、職員の環境衛生に努める。</li> <li>中東消防指令センターの維持管理等について検討を行い、円滑な運営に取り組む。</li> <li>消防本部4課全体の予算管理を適正に行い、各種の災害活動に対応できるよう、円滑な運営管理を図る。</li> <li>消防職員委員会及び職員衛生委員会事業を推進し、職員が活動しやすい環境整備に取り組む。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎等の設備保守管理、環境衛生管理、日常・定期清掃、機器運転監視等の総合管理業務を適正に行うとともに、消防庁舎敷地内の草刈り、浄化槽の点検及び清掃を実施した。</li> <li>通信指令事務協議会及び幹事会において、機器等の整備や負担金等について検討し、消防指令センターの円滑な運営に向けて取り組んだ。</li> <li>備品、消耗品等の整備及び負担金、補助金の事務処理や光熱水費等の予算管理を適正に行った。</li> <li>消防職員委員会及び職員衛生委員会を開催し、職員の意見に対して検討・対応し、活動環境及び衛生管理の改善に繋がった。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎運用開始から6年が経過し、修繕が必要な箇所が増えてきているため、計画的に対応していく必要がある。</li> <li>消防指令センターの全更新が数年後に予定されていることから、今後の運営に係る検討が必要とされる。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に庁舎を管理するため、修繕計画を作成し、施設の長寿命化を図る。</li> <li>中東消防指令センターの全更新に係る通信指令事務協議会及び幹事会に参加するとともに、財政課と綿密な調整を図っていく。</li> </ul>		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

事業名(中分類)	消防資機材等の維持管理・整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109031(救急活動事業費) 9.1.1.109032(消防救助活動事業費) 9.1.1.109850(常備消防総務費) 9.1.3.109014(消防自動車等整備事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防活動に必要な消防・救助、救急の使用資器材を整備するとともに、保守点検及び日常の使用点検を実施し、災害時に支障がないよう維持管理に努める。</li> <li>・消防活動に不可欠な活動服等の個人装備の整備及び維持管理に努め、災害活動における職員の安全を確保する。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災活動に必要な消防用ホース、空気呼吸器及び空気ポンベの更新を行うとともに、老朽化し安全性を欠く救助ロープやカラビナ等の整備を行った。</li> <li>・クレーン、空気呼吸器、空気ポンベ、ガス検知器、高圧充填設備、除細動器等の保守点検を実施した。</li> <li>・救急活動に使用する特定行為資機材や心電図資機材、感染防止資機材、消毒用品等の整備及び普通救命講習に使用する訓練用人形の更新を行った。</li> <li>・貸与年数に基づき個人貸与品の更新を行うとともに、10年以上経過し、耐熱性・防水性を欠く防火衣の更新を、使用頻度の高い職員を対象に行い、職員の安全確保に努めた。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救助資機材等の保守点検費用が高額となるため、計画的な予算確保が必要である。</li> <li>・救急出動件数が増加していることから、活動に必要な資機材等の確保が必要である。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	必要な資機材・点検等について、検討するとともに優先順位を付け、予算を確保していく。		

施策を構成する事業評価

No.	38	担当課	消防署
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	2	消防技術の向上を目指します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	派遣教育・各種研修・実習による職員の技術向上	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109850(常備消防総務費)
事業概要	職員(消防隊員、救急隊員、救助隊員)の技術及び専門的知識や能力向上のため、消防学校での専科教育、救急救命士を養成するための派遣、各種研修会や検証会への参加及び病院実習を行う。		
取組内容・結果等(D)	・消防学校における中級幹部科、救助科、救急科、警防科、火災調査科、予防査察科の専科教育への派遣及び、クレーン・ウインチ講習での資格取得や救助シンポジウム等の研修会に参加した。また、心電図セミナーや菊川病院等で開催された検証会、救急隊員等の研究発表会への参加及び、救急救命士の病院実習を行い、専門的知識や技術、能力の維持向上に繋がった。		
課題・問題点等(C)	大規模化、複雑多様化する各種災害現場での的確かつ高度な活動対応が求められる。		
今後の方向性(A)	教育機関への派遣や各種研修会等に参加して、専門的な知識、能力の維持向上を図り、現場活動を強化する。		

事業名(中分類)	災害対応訓練等の実施	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109032(消防救助活動事業費)
事業概要	複雑多様化する火災、救急、救助等の各種災害に対応するため、消防隊、救急隊、救助隊、指揮隊による基本訓練や実践訓練等を行い、現場活動技術や能力を高めるとともに、消防団等の関係機関と合同訓練を実施して連携強化し、組織的な活動能力の向上を図る。また、大規模な事業所(防火対象物)における災害時の活動を強化するため、マニュアル(警防計画書)を作成する。		
取組内容・結果等(D)	・各隊(消防隊、救急隊、救助隊、指揮隊)での小隊訓練(基本訓練、フィードバック等)や様々な災害を想定して、各隊が連携した実践訓練を年間を通して実施した。また、署全体訓練及び救助隊による体力錬成や基本、応用訓練を実施して、組織的な活動能力や技術が養われた。 ・消防団(全分団)及び菊川警察、災害救助犬静岡、県警高速隊、ドクヘリストッフ、県消防防災航空隊(5回)との合同訓練を実施して連携を強化した。 ・市内の9事業所に向いて現地調査を行い、災害時の対応マニュアル(警防計画書)を作成するとともに、その他の1事業所と火災防御訓練を実施した。		
課題・問題点等(C)	大規模化する災害等に対して、更なる迅速、的確、組織的な活動技術や能力が求められる。		
今後の方向性(A)	基本及び実践的な訓練を繰り返し、知識や技術、能力向上を図るとともに、関係機関と合同訓練を実施して連携強化を図り、各種災害に備える。		

施策を構成する事業評価

No.	36	担当課	消防総務課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	2	消防技術の向上を目指します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 H27	実績値									目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	派遣教育・各種研修・実習による職員の技術向上	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109850(常備消防総務費)
事業概要	年間教育計画に基づき、県消防学校への教育や救急救命士の資格取得及び病院実習の手続き、負担金等の事務処理を適正に行い、職員の育成に努める。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県消防学校で行われる中級幹部科、救急科(2名)、救助科、警防科、火災調査科、予防査察科に入校する計7名の入校手続き及び負担金等の事務処理を適正に行った。</li> <li>救急救命士養成研修、国家試験、就業前病院実習等の手続き及び負担金等の事務処理を適正に行った。</li> <li>救急救命士のビデオ喉頭鏡実習(2名)、気管挿管実習(1名)、再教育病院実習(14名)、処置拡大追加講習(2名)の手続き及び負担金等の事務処理を適正に行った。</li> <li>消防・救助活動に必要なクレーン及び玉掛け講習(2名)、ウインチ技能講習(2名)の受講に伴う手続き及び負担金等の事務処理を適正に行った。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の知識・技術の習得と将来の幹部職員育成のため、更に教育派遣が必要である。</li> <li>救急業務を遂行する上で、救急救命士資格者の育成と活動年数の検討が必要である。</li> <li>指導救命士の養成教育の計画及び活動方針等を検討する必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	令和2年度に、2人目の指導救命士の養成研修を予定しているが、以後の養成について計画等を検討する。		

施策を構成する事業評価

No.	36	担当課	消防総務課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	3	消防団の防災力の維持・向上を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	消防団員活動の環境整備推進事業						予算事業番号 (予算事業名)	9.1.2.109008(消防施設等管理費) 9.1.2.109801(消防自動車等管理費) 9.1.3.10928(消防団蔵置所建設事業費)					
事業指標	消防団員数の条例定数に対する比率 条例定数(364人)に対する実人員 実績値は年度当初の団員数	現状値 H27	実績値									目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	364	86.8%	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団蔵置所の必要な修繕を行い、長寿命化を図る。</li> <li>整備計画に基づき、消防団が使用する消防ポンプ自動車の法定点検等を計画的に行い、消防団車両の適正な維持管理に努める。</li> </ul>												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団蔵置所の修繕を行い、適正に維持管理した。</li> <li>消防団車両18台の法定点検を実施するとともに、車両のバッテリー交換、タイヤ交換、老朽化した部品の交換及び修繕を実施し、適正に維持管理した。</li> <li>消防団蔵置所の建設及び消防団車両の整備について、長期財政計画に計上した。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団蔵置所及び消防団車両の更新計画を検討する必要がある。</li> </ul>												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団蔵置所及び消防団車両の更新について、消防団と協議・調整を図り、消防団活性化検討委員会で検討する。</li> </ul>												

3. 基本事業

事業名(中分類)	消防団員の活動支援事業						予算事業番号 (予算事業名)	9.1.2.109006(消防団員報酬費) 9.1.2.109007(消防団運営費)					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防署との合同訓練を実施し、連携強化を図る。</li> <li>県消防学校の初級幹部科、現場指揮課程及び分団指揮課程、教育訓練指導員研修会等に消防団員を派遣し、必要な知識・技術を習得による、地域防災力の向上を図る。</li> <li>消防団員の身分を保障するため、団員報酬、出勤手当、退職報償金及び公務災害補償、福祉共済への加入など、適正な運用に努める。</li> <li>消防団協力事業所及び消防団応援の店の推進事業に取り組み、消防団が活動しやすい環境、団員が入団しやすい環境を整備する。</li> </ul>												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防署との合同訓練を計画し、あらゆる災害を想定した訓練を実施した。</li> <li>県消防学校の初級幹部科、現場指揮課程及び分団指揮課程、教育訓練指導員研修会等に消防団員を派遣し、必要な知識・技術を習得した。</li> <li>団員報酬及び出勤・訓練手当の支給、退職報償金や公務災害補償、福祉共済及び各負担金等の事務処理を適正に行った。</li> <li>消防団協力事業所を新たに3事業所認定し、24事業所となった。</li> <li>消防団応援の店として、新たに4店舗が加盟し、47店舗となった。</li> <li>消防団活性化検討委員会を開催し、消防団の活動環境整備について検討した。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>被雇用率が高いため、消防団協力事業所の更なる推進と機能別消防団の拡充を検討する必要がある。</li> <li>消防団員確保については、地域との連携が必要であるので、更に自治会長等に協力を求めていく必要がある。</li> </ul>												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団協力事業所を認定し、消防団員が活動しやすい環境整備を推進する。</li> <li>連合自治会及び各自治会長へ消防団員の必要性を十分説明し、更に協力を求めていく。</li> <li>消防団活性化検討委員会を継続して実施し、課題に対して検討する。</li> </ul>												

事業名(中分類)	消防団資機材等の維持管理・整備事業						予算事業番号 (予算事業名)	9.1.2.109009(消防団資機材整備費)					
事業概要	消防団の装備基準の改正(平成26年2月)を受けて、救助資機材の整備を行い防災力の強化を図るとともに、個人装備品を整備し団員の安全を確保する。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンカッターや老朽化した消防用ホースを計画的に整備して、地域防災力の充実強化を図った。</li> <li>救助資機材整備に伴い、全分団を対象に約2ヵ月間、取扱い説明及び操作訓練を実施し、災害時の活動技術向上を図った。</li> <li>活動服、ヘルメット、安全靴、耐火・耐切削手袋、防塵メガネ等の個人装備品を整備して、団員の安全を確保した。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>救助資機材の整備は令和2年度で完了する予定であるが、消防用ホースや個人装備品については、災害活動力を維持するため継続的に整備していく必要がある。</li> <li>前回の防火衣の整備から年数が経過し、老朽化による更新を検討しているが、今後整備計画を策定する必要がある。</li> </ul>												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>救助資機材の整備を完了する。</li> <li>防火衣の更新整備計画を策定する。</li> </ul>												

施策を構成する事業評価

No.	37	担当課	消防警防課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	3	消防団の防災力の維持・向上を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	消防団員活動の環境整備推進事業						予算事業番号 (予算事業名)	109008 (消防施設等管理費)					
事業指標	耐震基準を満たさない蔵置所の建替え整備	現状値 H27	実績値									目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7	100.0%	
事業概要	消防団の活動拠点となる消防団蔵置所のうち、現行の耐震基準を満たさない蔵置所の建替え整備を計画的に行う。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団横地分団蔵置所建設用地の買取を行った。</li> <li>消防団横地分団蔵置所の解体工事及び建設工事を実施した。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	現行の耐震基準を満たさない蔵置所の建設事業は完了したが、老朽化により修繕では対応しきれない蔵置所も今後予想されることから、建て替えを考慮した新たな整備を検討していく必要がある。												
今後の方向性(A)	長寿命化に向けた整備計画を検討していく。												

3. 基本事業

事業名(中分類)	なし	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要			
取組内容・結果等(D)			
課題・問題点等(C)			
今後の方向性(A)			